

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2021年12月2日

ENERGY STAR® データセンター用ストレージ パートナー関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は、このレターにより ENERGY STAR データセンター用ストレージ適合基準バージョン 2.0 に対する提案された変更を発表し、データセンター用ストレージ製品のマーケティング要件を拡大する。EPAはこの提案に対する関係者の意見を歓迎し、それは確定後に基準バージョン 2.1に反映される予定である。これらの提案された変更はバージョン 2.1 が確定した後に適合した製品に適用される。現在適合の製品は ENERGY STAR 適合を維持するために再試験を受ける必要はないが、EPAは現在適合の製品についてこの情報を早急に利用可能とすることをパートナーに強く奨励する。

EPAはデータセンター用ストレージ基準バージョン 2.0 の公表以降、この独特で複雑な製品タイプの適合確認手順に関して関係者と協力してきた。オペレーターが Data Center Information Management (DCIM) (データセンター情報管理)ソフトウェア経由で各製品のリアルタイムな電力および温度データにアクセスできることを認知することにより、IT ハードウェアを管理して個々のユニットが予定の作動範囲から外れた時に監視することが可能となる。EPAはこの DCIM ソフトウェアの存在と適合データとの組み合わせにより、性能に関して高水準の透明性を提供するという結論に至った。EPAはまた、顧客に ENERGY STAR 製品に関する追加情報を提供することは利点になることを確認した。多くの場合、重要な効率の情報はブランドオーナーのウェブサイトに掲載がないか顧客に提供されていない。従って、EPAは ENERGY STAR 適合の製品群のそれらの要素、その製品はどのような COM (容量最適化手法)を利用可能か、またその製品が提供する最小電源に関して製品ウェブサイトに明確に表示することを要求する。EPAはこれらの情報によって関係者が顧客に対して更なる透明性を提供できると信じている。関係者との話し合いおよび市場の検討により、現時点では本基準に対する他の変更は必要ないことが確認されている。本要件は以下に抜粋した第 3.5.8 節に記載されている。

3.5.8 パートナーのプライマリーマーケティングおよび/または製品概要ウェブサイトにて下記製品情報を明確に表示してあるウェブリンクを報告すること。

- i. ENERGY STAR 適合製品群に含まれるモデルライン内での構成の識別；
- ii. その製品に利用可能な COM (容量最適化手法)；
- iii. 製品群内で提供される最小電源効率 (できれば 80 Plus 同等のステートメント)。

関係者は 2021 年 12 月 16 日までに本基準バージョン 2.1 に関する意見を storage@energystar.gov宛に提出することができる。寄せられた全ての意見は、提出者が非公開にすることを求めない限り ENERGY STAR Product Development website に掲載される予定である。

EPA と産業およびその他関係者との間の考えおよび情報交換は ENERGY STAR 成功にとって重要である。基準および会議資料は e メールで配信され、ENERGY STAR ウェブサイトに掲載する予定である。EPA の本基準改定に関する進捗を調べるには [data center storage product development website](#) を参照のこと。

本基準に関する質問もしくは懸念については、小職 Fogle.Ryan@epa.gov もしくは 202-343-9153 又は John Clinger、ICF、John.Clinger@icf.com もしくは 215-967-9407 に連絡のこと。データセンター用ストレージに関連するその他の質問は storage@energystar.gov に連絡のこと。ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

敬具

Ryan Fogle

ENERGY STAR IT およびデータセンター製品、EPA マネジャー